

令和3年度 第1回 学校運営協議会（議事録）

○日時 令和3年6月4日（金）～6月17日（木）

○実施形態 書面開催

○出席者

学校運営協議会委員（敬称略 50音順）

天野 和美	湘南台小学校長
伊藤 秀樹	湘南台高等学校長
大久保 敬一	湘南台市民センター長
川口 昇	湘南台地区地域協力者会議会長
黒木 俊治	湘南台中学校長
滝上 航太	湘南台東口商店街協同組合理事長
立林 絹枝	藤沢養護学校長
長尾 謙吉	専修大学経済学部教授
原田 美佳	湘南台高校PTA会長

湘南台高等学校職員

大江 雅美	副校長
田中 進	教頭
服部 寿美	総括教諭（学習支援グループ）
藤岡 敦子	総括教諭（進路支援グループ）
子安 政宏	総括教諭（管理運営、生活支援グループ）
進藤 隆秀	総括教諭（生徒会支援グループ）
黒瀬 奈央	総括教諭（広報・研究グループ）

○令和3年度学校評価報告書（目標設定）に関する学校運営協議会委員からの意見と意見に対する学校からの回答

	視点(項目)	学校運営協議会委員の意見	意見に対する学校からの回答
1	教育課程 学習指導	<p>&lt;長尾委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な方策「①ICTを積極的に活用し、・・・」を、「①対面授業とともに、ICTを積極的に活用し、・・・」としてもよいのではと思います。ICT教育ばかりが前面にでているような気がします。</li> <li>・評価の視点「②探究活動や学校行事に生徒が・・・」に、「②コロナ禍の制限があるなかで、探究活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の観点について年度途中で変更することはできないので、評価における課題改善方策を検討する際に指摘いただいた視点を入れた形で行いたいと思います。</li> </ul>

	<p>や・・・」を加えてもよさそうです。</p> <p>&lt;立林委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度研修会の実施結果において、「理解度」についての評価はどのようにされたのか、読み取ることができませんでした。研修会において受講者の理解度をより高めるためには、研修テーマ【内容】の選定が受講者のニーズに沿ったものであるかが重要なポイントになると考えます。今年度の評価の観点に同様の記載がありますので、「理解度」の達成状況を丁寧に把握しながら取り組んでいただきたいと思います。</li> </ul> <p>&lt;天野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のコロナ禍にあって授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現や生徒が主体的に取り組む体育祭や文化祭といった学校行事の運営は大変難しいと思われます。どのような取り組みをされるのか具体的に教えていただけたらと思います。</li> </ul> <p>&lt;滝上委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生の学習研修は無事に開催されましたか？とても有意義な事なのでぜひ実施して頂きたいです。</li> </ul> <p>&lt;川口委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用による授業のユニバーサルデザイン化の取り組みには、ハード、ソフト両面からの工夫と試行が必要だと思いますので今年度の成果を見守ります。</li> <li>・昨年は中止が相次いだ、学校行事等が、制約がまだ続くものの、計画的に実施できることは、生徒の主体的、共同活動を促すものであり、活発な活動への指導を期待します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の研修会では、受講後の感想を受講者に提出してもらいました。その中では、理解できたこと、印象に残ったこと、疑問点などをおおまかに把握することはできました。しかし、ご指摘のとおり、受講者全体の「理解度」は測っておりませんでした。今後は、研修会の目的を明確にし、その目的の内容の理解度をアンケート項目の一つにするなどして、理解度を丁寧に把握していきたいと思えます。</li> <li>・向かい合わせを避ける、机を近づけすぎないなどの配慮をしながら、生徒同士のコミュニケーションを重視した主体的・対話的授業は続けていきます。</li> <li>・体育祭については、競技者は軍手をします。応援席ではマスク着用。用具等は使用の際消毒をする。保護者の参観は事前申し出制で1名のみなど感染症防止対策をして行いました。</li> <li>・インクルーシブ教育に係の連携生徒が入学してきたこと、新型コロナウイルス感染症拡大などの理由から、宿泊研修は現在実施していません。</li> <li>・ある程度ハードの面については整備されつつあります。これからはソフトの面について授業での取り入れ方などの研究が必要となってきます。</li> </ul>
--	--	--

		<p>&lt;原田委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ授業の時のWi-Fi環境が悪く繋がりにくいので、繋がりがやすくなればストレスフリーで授業ができるようになり、さらに多くの調べものができ勉強向上につながると思います。</li> <li>・部活等としていると英検、漢検などの検定日と練習や大会が重なり受けることができない子どもたちが多いです。学校での検定一括申込みや学校で検定を開催すれば子どもたちの検定受験率、合格率もあがり、子どもたちのやる気にも繋がると思います。さらに夏休みや冬休みなどの長期お休みを利用して講習などを開催すれば勉強の遅れが心配な子や大学受験でプレッシャーと戦っている子どもたちにとって、学校という好きな場所で同級生たちとの講習で切磋琢磨していく中でやる気向上と仲間という安心感が生まれ、結果もついてくる。自信に繋がると思います。また、休み明けに違う姿になってしまう子どもたちも減少することとします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の関係があり、すぐには対応できない部分がありますが、環境整備は進めていきたいと思っています。</li> <li>・夏休みには講習を実施しています。今年度は17講座募集、15講座を開講しました。各種検定の校内実施に関しては日程の設定など条件があるので、すぐに実施するというわけには行かないと思いますが、検討をしたいと思います。</li> </ul>
2	<p>生徒指導・支援</p>	<p>&lt;長尾委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な方策「①生徒情報を共有し・・・」を、「①生徒情報や他機関での取組事例を共有し・・・」としてもよいのではと思います。</li> </ul> <p>&lt;天野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な生徒が在籍する中で相互理解を深めるためにもインクルーシブ教育の充実は有効な手立ての一つだと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価における課題改善方を検討する際に指摘いただいた視点を入れた形で行いたいと思います。</li> </ul>
3	<p>進路指導・支援</p>	<p>&lt;長尾委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとの数値や評価だけでなく、経年的に傾向や変化を把握することができればよいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年ごとに学校目標の総括を行う予定ですので年度ごとの評価について経年で捉えるような形で検討したいと思います。</li> </ul>

		<p>&lt;滝上委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍による授業環境の変化で進路に影響が出てしまった生徒はいますか？</li> </ul> <p>&lt;川口委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校は将来の進路を決める大事な最終的段階であり、この時期に、地域の人材・企業、イベントなどと生徒が主体的の関わりを持つことは、様々な教育的な効果は期待できますので、地域教育力の活用にあたっては、出来る限り、協力支援していきたいと思えます。</li> </ul> <p>&lt;原田委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴代の卒業生や地域の方などから、なぜ、今の進路先や就職先などに進んだのか？の生の声を聞くことにより子どもたちの刺激になり世界観が広がり、さらに将来について真剣に考えるようになるものと思われます。また、その進路先や就職先に必要、もしくは、あればさらに良いと思われる資格や技能などを教えてもらえれば、子どもたちが具体的に夢や目標を描きやすくなるのではと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接的に進路に影響はしていませんが、昨年家庭学習期間が長かったせいか、学習習慣がついていない生徒が増えたように思えます。</li> <li>・インターンシップや地域のイベントへの参加などは生徒にとって貴重な機会だと思っています。今後ともよろしくお願いします。</li> <li>・進学が決まった生徒からは毎年直接話を聞く機会を設定してきました。昨年、今年は紙面だけになりました。数年前には宝塚に進んだ方に全校生徒対象でお話をいただきました。就職後に高校とつながる方が少ないのですが、また機会があれば、実施したいと思っています。</li> </ul>
4	<p>地域等との協働</p>	<p>&lt;大久保委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が暫く続きますが、他の学校にない特徴的な活動を行い常に情報発信することを望みます。</li> </ul> <p>&lt;原田委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方たちとの交流により普段は会わない世代の方と一緒に祭りや行事をすることにより、様々な話が聞け、子どもたちがより成長すると思えます。可能ならば、地域の行事のお手伝いのほか、老人ホームや幼稚園や保育園など様々な世代へのボランティアをすることにより、普段経験できない経験をして人間の器を大きくしてもらいたいと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを有効利用して、様々な情報を発信していきたいと思えます。</li> <li>・現状として、地域との交流については難しいと思えます。地域との交流が可能になりましたら、様々な施設との交流を進めていきたいと思えます</li> </ul>

5	<p>学校管理 学校運営</p>	<p>&lt;大久保委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故不祥事を防止するには、普段のコミュニケーションを通じ、お互いの変化に「気付く」こと、また必要に応じて研修を行うことであると思えます。いち早く事故不祥事発見に努めることを望みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止会議等を通じて、事故不祥事に対する啓発を行っています。やはり普段からの職員間でのコミュニケーションを取ることが事故防止には大切だと思えます。</li> </ul>
6	<p>インクルーシブ教育実践推進校の取組</p>	<p>&lt;長尾委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士での「よい相互作用」が育まれるよう期待しています。</li> <li>・いきなりコロナ禍で大変だとは思いますが、インターンシップの持つ意義は大きいと思えます。</li> </ul> <p>&lt;立林委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ教育実践推進校としての職員の一体感が、授業のUD化の推進力になると考えます。積極的な取り組みを期待します。藤沢養護学校のセンター的機能を、是非ご活用ください。</li> </ul> <p>&lt;天野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での支援の在り方について、また学校行事等における生徒同士の関わり方や関係性がどのようなものか興味深いです。また、学校設定科目「ライフデザインⅠⅡⅢ」がどのようなものか具体的に知りたいです。</li> </ul> <p>&lt;滝上委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今夏、東口商店街にて職場体験学習が実施される予定です。初めての取り組みですが、事故など無いよう細心の注意を払い生徒の皆さんに有意義な時間を過ごせてもらえるよう努めます。</li> </ul> <p>&lt;川口委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいをもつ生徒にとって、高校卒業後の進路が大きな課題です。インターシップロードマップで各学年毎に職場体験や企業学校見学を行い、進路決定支援を行っていくことは評価します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも活用させていただきたいと思えます。</li> <li>・「ライフデザインⅠⅡⅢ」の授業では、日常生活・社会性・働くことについて、社会に出るために必要なことを、体験を通して学んでいます。</li> </ul>

		<p>&lt;天野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ教育実践推進校は横須賀・三浦・湘南地区で3校ですが今年度の募集の状況はどうだったのでしょうか。今後希望が定員をはるかに上回った場合、入学選抜はどのようにされるのか知りたいです。</li> </ul> <p>&lt;原田委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブが始まり、どのような取組みをしているのか普通科の子どもたちも保護者の方たちもわかりません。また、インクルーシブの子どもたちも保護者の方たちも普通科がどのような取組みをしているか分からないかもしれません。そのような中、相互にどのような取組みをして学校生活を推進していくか。の指針がお互いに分かれれば誤解もなくなり、共存共栄の中、どのようにしたらお互いが気持ちよく学校生活を送れるか。を、子どもたち、学校、保護者たちが知恵を出し他に類をみない素晴らしい学校になるものと思われます。普通科の子どもたち、インクルーシブの子どもたちと、一人一人違って当たり前。違う価値観を受容れあうことにより、みんなちがっていい。自分もみんなも そのままでいいんだ が腑に落ちることにより、子どもたちも保護者の方たちも器が広がり人間的に成長できるものと思ひます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 21 名のところ、本校では 10 名、茅ヶ崎高校では 12 名、津久井浜高校では 11 名の応募があり、全員が入学しています。入学者選抜は、面接のみで行われています。</li> <li>・保護者の方達への説明は足りないところがあったかもしれません。生徒向けには、昨年度は、7 月、12 月、3 月に「インクルーシブの学習会」を実施しました。とくに、12 月の学習会では、本校の取組を具体的に紹介しました。このような取組を重ねていくとともに、ご意見の中にあるように、子どもたち、保護者、学校が知恵を出し合うことにより、良い形をつくりあげていきたいと思ひます。ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。</li> </ul>
7	その他	<p>&lt;長尾委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から学校の ICT 環境も大きく変化したのではないかと思ひます（県からの補助金もあるようにお聞きしました）。可能なら資料がありますと、ICT 教育の実践や入試（とりわけ A0 入試）への対応などわかりやすいかと存じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の Wi-Fi 環境は充実しましたが、つながりが悪いときがあり、総合型選抜などの面接に使うのには不安がある状況です。</li> </ul>

<長尾委員>

- ・4月から6月までの教育活動を拝見すると、昨年度の経験を活かして「能動的かつ柔軟に」学校としてコロナ禍に対応して取り組まれていることがわかります。

<立林委員>

- ・両校共通のミッションである「共生社会の実現」につながる取組の協働を模索していければと思います。よろしくお願いいたします。

<原田委員>

- ・私の家はお手紙が届かない家だからというわけではありませんが、学校の一斉メールにてお手紙の配布連絡や可能であればお手紙の添付もしていただけるとありがたいです。長男の行っていた高校では、さくら連絡網を使い子どもと保護者2名にお手紙連絡とお手紙添付（URL）がされていたので、お手紙がこなくて行事や懇談会の日程などが分からない。ということがなくなりましたので、ご検討いただければと思います。
- ・1年生の懇談会後の役員勧誘にご協力いただきまして誠にありがとうございました。貴重なお時間をいただきまして感謝の気持ちでいっぱいです。先生方の協力のおかげで新しい仲間が14名増えました。感無量です。

今回、先生方のご協力のもと勧誘ができ、さらに3年生の役員さんたちは、それだけのために学校に来てくれました。教室での役員勧誘。ほとんどの人が初めての体験だったと思います。そのような中、緊張しながらも湘南台高校PTA委員会のため、子どもたちや学校のため。と誠意をもって活動してくださいました。中には、どこで切り上げればよいか分からず時間経過してしまった方もいます。人の前に立

- ・現在のメールのシステムでは資料の添付などができない仕様になっています。

メールの使用法については検討したいと思います。

- ・PTAの協力により、生徒がよりよい充実した学校生活を送れると思います。学校運営協議会やPTA運営会議などにおいてよい学校づくりのため意見をいただけたらと思います。

		<p>って話すことが初めての人もいます。緊張しすぎて何を話すか分からなくなってしまう人もいます。それでも、次の世代に委員会を残すため、子どもたちが楽しい学校生活を送るために！としてくださいました。勧誘に来てくれた人もお仕事などの用事で来られなかった人も子どもたちのため、自分たちは学校と保護者の橋渡しだと思って活動してくれています。今回のような1年生勧誘というイレギュラーなことは今後あまりないように思いますが、役員さんたちは先生方と協力して子どもたちが楽しい学校生活を送れるように、と思っております。先生方とPTAで協力して素晴らしい学校生活を子どもたちに送ってもらうため力を尽くす所存でございます。</p>	
--	--	---	--